

# 「孝」の城は、華の城

## スゥオン ファソン 水原華城の踏査から

2002年8月24日、韓国・水原（スゥオン）市において「日本姫路城と韓国華城比較研究」をテーマに第2回韓日学術交流発表会（主催：（社）華城研究会、後援：京畿文化財団ほか）がありました。これは世界文化遺産に登録された2つの城郭を比較研究しようというものです。昨年は姫路市で第1回の発表会が行われ、「姫路城を守る会」の会員が発表しました。

今回は城郭研究室から夏季休暇を利用して2名が参加しました。発表会の翌日は我々のために華城の踏査会を行っていただきました。

そこで本ニュースでは、華城（ファソン）について紹介します。なお、発表会については、（社）華城研究会ホームページ（<http://www.hwasong.org>）を参照してください。

華城の建設は、正祖（チョンジョ）大王によって1794年に始められました。築城にあたり中国の築城書を参考にしましたので、中国の城制に基づく城郭ということができそうです。ただし、基本は中国の城制かもしれないけれど本質的には韓国独自の城制によって築かれている、と主張する研究者もいるようです。この点については、韓国内における城郭研究がもっと進まないとい

明言できないと思われま

さて、華城築城の契機は、王位を継承した正祖が、悲劇的最期（米櫃に押し込められて殺害）を遂げた父思悼（サド）世子のために陵墓を移築したことにあります。正祖はこの惨劇を幼少時に目の当たりにしており、そのため父への想いは強かったとされ、華城築城も親に対する「孝」精神の表象ととらえられています。

その陵墓は水原の南の花山（ファサン）に築かれ、参詣のための行宮を守る施設として華城が築かれたのです。行宮は行幸時の宿泊施設ではありますが、滞在中はここが首都ソウルの王宮に代わるわけですから、王とそれに随行する多くの官吏らを守るための城郭もそれ相応のものが築造されています。全周5.7 kmの城壁と壮大な主要城門は、首都の羅城にも見劣りしないものだったでしょう。

華城が世界文化遺産に登録されたのは1997年でした。当時の東西洋の科学的粋を集めて築かれた軍事施設として評価されたそうです。一方姫路城の評価は、武家文化を象徴する木造建造物ということです。双方を単純に比較することはできないのですが、こうした評価の相違は、漢字では同じ「城」でも実態が大きく異なるものであることを示しているし、外国人が考えている城というもののイメージがどちらに近いのかということも考えさせられます。

写真上：セミナー会場となった京畿文化会館入口の垂幕。

写真下：西南暗門（ソナムアンムン）から八達門（パルダルムン）を見る。手前の建物は南砲楼（ナムポル）。



華城の中央を水原川が、行宮の堀の役割を担うかのように南北に流れている。この城のもうひとつの象徴となる門は東西南北に一つずつあり、長安門と八達門が南北にそれぞれ位置している。そのうち八達門は現存建造物である。方位は上が北。

上の写真は華城の空撮写真です（華城研究会編『華城』2002より）。韓国におけるこの城の評価を書籍などで読んでみると「華城は平山城にされ、とてもめずらしい」という記述があることに気づきます。韓国では城郭といえば多くが山城であり、邑域的な平城と山城の融合した城郭が少ないことによるのでしょう。正祖の逸話だけでなく、こうした立地の特徴も華城を際立たせている理由の一つのようです。

華城では、写真左に写る八達山が、日本ではいわば「本丸」に相当します。この頂部にあるのが西将台（ソジャンデ）で、ここから城内の各施設が見渡せるし（「八達」という山の名前からわかるように、この山自体眺望の優れた場所である）、逆に城内の雉城からも西将台がよく見え、日本人ならまずここに天守を建てることでしょう。夜間ライトアップされた姿をみていると、この施設が華城の象徴的建造物であったことが実感できます（ちなみに、華城でライトアップを実施するにあたり、姫路城でのやり方や機材を参考にしたそうです）。西将台から王が軍事教練を閲兵したという記録があるそうです。ここからなら、旗や太鼓を使えば効率的な指揮ができたことでしょう。

西将台の東側山麓には行宮がありました。「三の丸」といったところでしょうか。現在、復元工事中で未完成（用地買収もすべて済んでない）ですが、平気で一般公開しています。このあたりの感覚は、日本と大きく異なるところで楽しくなります。

踏査会の時、行宮の案内所のおばさんたちが、前日の学術交流発表会を聴きにに来てくれたそうで満面の笑顔で迎えてくれました。華城の「華」は、ここにありました。



"Shiro Fumi" No.40 The News of Himeji Center for Research into Castles and Fortifications.